



11月は、立冬で寒い日が増え、冬の気配や年の瀬を感じ冬支度をする頃で、例年の気温は18度〜16度になります。今年も気温が26度の夏日があり、ひまわりが満開になったり、桜が咲いたり、冬とは程遠い異常と言え、季節のイベントでは「七五三」や「酉の市」などがあります。印象がだいぶ違う陽気で暑い中での行事となっています。

11月でこのような状況ですので、今年の冬は暖冬となるようですが、気温が上昇しているのは日本だけでなく世界的な為、連鎖的に起こっている現象だそう。ただ、北極からの寒気が日本などの中緯度のエリアに流れ出してくる可能性があり、そうなると大雪になるそうです。暖冬と言われているのですが、雪への備えはしておいた方がよさそうです。

【PBR (株価純資産倍率) 1倍割れ】

2023年3月に東京証券取引所は、上場企業のうちPBR1倍割れの企業に対し、PBRを1倍まで引き上げるよう改善策の要請をしました。

日本は、アメリカなど諸外国と比べた資本効率、収益性、株価の低さを長年問題視されており、企業価値の向上に向けた取り組みが求められています。日本の上場企業でPBR1倍割れしている企業は、40%以上(2022年7月時点)に達しており、これに対してアメリカの代表的な主要銘柄は5%にすぎず、日本企業の収益性や成長性が問われ、市場に評価されていないと言われています。

投資家の目線を意識しておらず、それを戦略や情報開示に活用できていないとみられていて、投資家が自社の収益性や成長性をどのように評価しているか経営側が意識する必要があります。特にPBRが1倍を割れているなど低い企業は、明らかにそれが示唆されています。

PBR改善の具体策は、一過性の対策ではなく持続的な成長が期待されており、現実的な対策として自社株買いや配当金アップ、株主優待の検討など、実質的に株価を上げ人気銘柄となるよう企業を成長へ導くための措置と言えます。

このことにより、PBR 1倍割れの銘柄はアイコーチでお勧めと明言しています。

反面教師流 相場道場

『株式相場格言』

【波乱多きは天底の知らせ】

相場は様々な動きをしますが、その中でも上げる時も下げる時も長期間続くことがあります。そのような相場の時に、天井や底に近くなると乱高下(大きく上がったり、大きく下がったりする)することがみられると、これは強弱観が対立するためで、このような相場展開になると、天井や底が近いと推測できます。

高値で上下に振れたらそこが上値天井
安値で上下に振れたらそこが下値天井

陳さんの
おすすめグルメ

九段下 鳥福
クダンシタ トリフク

<https://www.dd-holdings.jp/shops/torifuku/kudanshita#/>

九段下駅から徒歩1分で、目白通りに面した所に大きく看板の見える、鳥料理のお店です。ランチタイムには、特製きし重がいただけます。濃い目のたれに温泉卵が乗っていて、あっさり食べられますので、男性にも女性にも人気のお店です。



マヨかけもあるよ

口コミやご質問ご意見などを是非お寄せください。

また皆様のご投稿もお待ちしております！

編集担当：中西芳子

メールアドレス：i.coach.hp2022@gmail.com

